

減災都市宣言

悠久の歴史と伝統に培われてきたわたしたちのまち多賀城は、古くは貞観地震、近年では8.5豪雨と9.22豪雨など、多くの自然災害に見舞われてきました。

とりわけ東日本大震災がもたらした壊滅的な被害を前にして、わたしたちは自然に対する無力さを実感し、畏敬の念を新たにしました。

大雨、台風、土砂災害、地震、津波など、わたしたちの想定を超えるような大災害が、いつまた起こらないとも限りません。

わたしたちは、いつかまた来る災害に備えて、自然の猛威と脅威を乗り越えてきた先人とわたしたち自身の経験・教訓を風化させることなく、未来に継承していかなければなりません。

一人ひとりがまちづくりの主体者であることを意識し、自助、共助、公助の役割分担と相互連携のもと、日々、歴史に学び、災害による被害を最小限に抑える

『減災』の取組を進めていきます。

そして、わたしたちは、人命を第一に考え、災害に備え、災害による被害を極力減じ、迅速に復旧復興するまちを目指して、ここに『減災都市 多賀城』を宣言します。

平成25年(2013年) 11月28日

宮城県 多賀城市